



株式会社タカラトミー

プロジェクト名 東京モデル推進プロジェクト ～WLBドリームプラン実現に向けて～

実施予定期間 平成22年9月1日～平成25年3月31日

実施目的 東京都の推進する「少子化打破緊急対策」の趣旨を受け、子どもたちに夢を与えるおもちゃ会社の社員こそが、いきいきと働くために、子育て支援やワークライフバランス等に積極的に取り組むべきと捉え、本プロジェクトを設立し、推進を図る。

世界No.1のおもちゃ会社を目指して

世界NO.1のおもちゃ会社を目指すタカラトミー。「子どもたちに夢を与えるおもちゃ会社の社員こそがいきいきと働くために」と、ワークライフバランス(WLB)の実現に向けた3年間のプロジェクトに取り組んでいる。

2年目となる今年の4月、「ワークライフバランス課」を新たに創設し、グループ5社にも専任者を設置した。「経営戦略としてのWLB推進は、初の試みです。オフィシャルな取組であることを明らかにして本気で進めようと、専任部署を発足させました。」と連結人事部ワークライフバランス課長の鈴木茂氏は語る。社内のポスターには、富山幹太郎社長による「WLBは生易しいものではない。経営戦略として覚悟を持って取り組む」という趣旨の強いメッセージを掲載している。

在宅勤務の積極的な導入

プロジェクトの大きな施策の1つが、在宅勤務制度の導入と拡大。育児休業復帰者を対象に週1回のトライアルを3ヶ月間行った。同社では端末には一切データを残さないシンクライアント端末を利用し、高いセキュリティレベルを実現。効果検証の結果、業務効率向上や通勤時間短縮による心身の負担軽減等、様々な利点があった。

また、同社の業務は玩具の企画等クリ

イティブな要素が多いため、自宅でのワークスしている時にアイデアが浮かぶことも多い。育児・介護の時間創出にはもちろん、創造性を高めるのにも有効な制度と捉え、育児・介護に携わる社員だけでなく、企画業務に従事する社員も対象とし、年明けからの本格導入を予定している。

多様な働き方の実現に向けて

同時に、モバイルワークにも積極的に取り組む。今年4月にアメリカの玩具・乳児用製品会社であるRC2コーポレーションを買収して、さらに社員の海外出張が増えたことから、出先でも迅速な対応ができるよう、一部でスマートフォンやタブレット端末を導入。

また、今後、社内のフリーアドレス化とシンクライアント端末の導入を進め、固定席を削減して自由な発想ができるオープンな環境や、自社内のフロア・グループ内のビルを自由に移動して自席と同じように効率的に働けるオフィス環境の実現にも取り組む。

在宅勤務、モバイル勤務、オフィス改革を組み合わせ、柔軟に働き創造性を高めることのできる環境の創設を目指しているのだ。

育児と仕事の両立支援や、様々な施策でWLBを支援



連結人事部 ワークライフバランス課長 鈴木茂さん(右)
連結人事部 ワークライフバランス課 半田 紘子さん(左)

同プロジェクトでは、男性の育児と仕事の両立や、妊娠期の女性の心と体の変化等をテーマとした両立支援セミナー、育児休業からの円滑な復帰を目指す復職セミナーなどを開催し、仕事と育児の両立を支援している。また、年次有給休暇の取得促進や、社員の子どもを職場に招く「ファミリーデー」開催による職場と家庭の相互理解にも熱心だ。

今後、WLB専用のイントラネット開設も予定しているが、ワークライフバランス課では、一方的な情報発信を超えたものにしたいとの思いがある。「WLBは、『世界一のおもちゃ会社』という目標に向かって発展していく中での一つの取組ということを皆で共有したいのです。社員から寄せられたWLBのためのアイデアを載せたり、社員同士のコミュニケーションにも利用してもらいたいと思っています。」と、ワークライフバランス課の半田紘子氏。様々な施策を展開しているが、WLBの主役は社員一人ひとり。社員が主体的に取り組んでいけるよう支援していく。

企業概要

株式会社タカラトミー

所在地：東京都葛飾区立石7-9-10

事業内容：玩具・雑貨・カードゲーム・家庭用ゲームソフト・

乳幼児関連商品等の企画、製造および販売

URL：<http://www.takaratomy.co.jp/>